

令和 6 年度 施策評価表

施策	0402 地域間交流の推進	施策担当部	企画政策部	部長	山中 さと子
		施策担当課	企画政策課	課長	三岳 和裕
施策の方針	国内の姉妹都市や友好交流都市、さらには天正遣欧少年使節ゆかりの地などとの地域間交流を推進する。				
関連するSDGsのゴール	   				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 姉妹都市・友好交流都市交流事業への延べ参加者数	人	269	476 339	571 484	622 527	1,045	1,500	84.7%	35.1%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

R2より新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた飯南町青少年交流ツアーを再開した。当初は子供だけの参加を予定していたが、コロナ禍明けということもあり、参加人数を減らし親子での交流に変更したことによる参加者数減。また、当初参加を予定していた5月の伊丹市緑化フェアが、伊丹市側の事業見直しにより開催されなかったことによる事業参加者数の減少。

施策経費

(単位:千円)		R5年度 決算	R6年度 予算	R7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	2,202	3,529	6,537	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	4	10	549	
	一般財源	2,198	3,519	5,988	
	人件費	5,421	4,947	—	
フルコスト	7,623	8,476	—		

施策の概要（細施策）

040201	地域間交流の推進	他の地域の人々との交流を通じて相互の理解を深め、広域的振興を図るため、国内の姉妹都市である秋田県仙北市、兵庫県伊丹市のほか、友好交流都市である島根県飯南町、さらには天正遣欧少年使節ゆかりの地や日本遺産に認定された「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」構成自治体との多様な地域間交流活動を推進します。 また、大村湾を活かした地域の活性化を推進するため、大村湾流域自治体5市5町等による連携と交流を推進します。

**【CHECK（評価）施策担当部長】**

**施策を達成する上での問題点・課題**

【姉妹都市交流事業】  
 令和6年5月仙北市との姉妹都市提携45周年事業を実施し、姉妹都市・友好交流都市物産展では、伊丹市・仙北市・飯南町による販売を行い、昨年、4年ぶりに再開された飯南町親善訪問団を受け入れる。1月には同じく昨年再開された飯南町と本市の小学生による交流事業を実施する。

【天正遣欧少年使節ゆかりの地交流事業】  
 令和6年7月の天正遣欧少年使節ゆかりの地交流事業は、昨年同様対面での交流事業（波佐見町）実施となる。参加者の中学生たちが郷土の歴史・文化への理解を深め、参加者同士の交流を深められるよう、ゆかりの地構成市町と連携を図りつつ事業効果の向上を図る必要がある。

**【ACTION（改善・改革）】**

**上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方**

【姉妹都市交流事業】毎年5月末～6月に行う姉妹都市・友好交流都市物産展では、従来通り伊丹市・仙北市・飯南町による物産の販売を行うが、ただの物産販売にとどまらず、姉妹都市の認知をあげ、交流に繋がる物産展となるよう取組む。

令和7年は伊丹市・飯南町との周年となる。伊丹市では物産展が再開され、飯南町では周年事業が開催されることから、更なる交流推進のため両市と連携しよりよい事業となるよう務める。

【天正遣欧少年使節ゆかりの地交流事業】令和6年は国内での交流が図られ、いよいよ令和7年は、6年ぶりの海外派遣が実施される。参加者の中学生たちが郷土の歴史・文化への理解を深め、参加者同士の交流を深められるよう、ゆかりの地構成市町と連携を図りつつ事業効果の向上を図る必要がある。

**令和7年度新規事業**

	事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	